



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和6年度 第8号

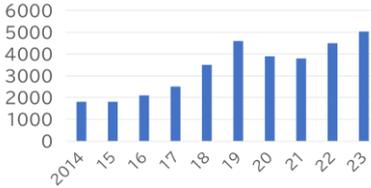
12月2日 児童数223名

入間市立宮寺小学校

入間市宮寺594-1 電話2934-2014



県内での暴力行為の発生件数



きれいな心 ~友達を大切に~ 宮寺小学校 校長 塩沢 栄一

こちらは、先日新聞に掲載された県内の小中学校での暴力行為の発生件数です。心配されるのが特に小学校で増えているということです。児童同士のささいなトラブルや口げんかから、小突き合いや

胸ぐらをつかむ行為に発展してしまうケースが目立つとのこと。そして、対教師暴力も増えています。さらには、いじめ・不登校も過去最多と出ていました。この報道には危機感を感じます。本校では、4月より「校長先生の大切なウルトラ7」を通して、「友達・自分の命を大切に、宮寺小学校はいじめ・なかまはずれゼロ」を言い続けています。しかし、いじめられている子がいじめと感じたら「いじめ」です。したがって、一度指導すればそれでよいのか、とんでもありません。毎日の学校生活の中で子供たち一人ひとりの心理的安全性を大切にしていかなければなりません。また、このところ「闇バイト」といった言葉が新聞やニュースで多く聞かれます。最近では十代の子も犯罪の一味に加入していると。言葉や凶器で人を傷つける、大切にしない行為は絶対にいけないということをし指導し続けます。文科省は小学校生活をスムーズに進められるよう、幼稚園・保育園と小学校の「架け橋プログラム」というものを提唱しています。本校では先月末、宮寺保育所の年長さんを招き、1年生との交流会をしました。1年生は年長さんを喜ばせようと遊びを紹介し、ていねいに説明し、よい交流会ができました。今月は宮小まつりも予定されています。子供同士の交流を通し、友達を大切に、自分を大切にすることを学ばせます。ぜひ、ご家庭でもあらためて「自分を大切に、友達を大切に」ということを話してあげてください。学校と家庭が連携し、子供たちを大切に育てていきましょう。



校長の学び「今月の読書」



宮寺保育所のみなさんとの交流会

「ショウタか」のばした首のさきで目をまんまるにして、タヅさんがいった。リョウタは、じぶんの名前をよばれたと思ってへんじをした。「はい」タヅさんはつえをほうりだしてリョウタにかけより、いきなりぎゅっとだきしめた。リョウタはびっくりして手をつっぱった。はずみでタヅさんはしりもちをついた。くらがりでもわかるくらいに、なきだしそうに顔がゆがんだ。それでもかまわず、タヅさんはひざをつけてリョウタの手をとった。「ごめんね。おそうなって。かあちゃんがなかなかみつけられなかったけえ」あやまったのはタヅさんだった。

「ぼくはうそをついた」 西村 すぐり

夏休みおすすめ読書 5・6年生の1冊です。むすこを思うおばあちゃんのためにうそをついてしまったリョウタ。やさしい気持ちがしっかり届きます。